

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立 香簀小学校 学校協議会

1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果は概ね妥当である。
学力面での低下は否めないところではあるが、1年間しっかりと指標・目標を立てて、教職員一丸となって取り組みを推進したことは、一定の成果があるといえる。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：最重要目標① 安全・安心な教育の推進
最重要目標② 未来を切り拓く学力体力の向上
最重要目標③ 学びを支える教育環境の充実

全市共通目標、並びに学校の年度目標に対する達成状況等、今年度の学校の自己評価は妥当である。
働き方改革もすすんでいるようである。PTAが保護者会に移行したが、その成果もあった。また、児童の自己肯定感が高い結果が表れており、非常に良い。運動や体育の授業が好きというところからも、学校側からの児童への働きかけが体力面でもよい形で表れていると評価できる。

3 今後の学校園の運営についての意見

講堂の床面・外壁のおおがかりな改修工事があり、子ども達の運動能力や体力の低下に影響がないか懸念されたが、授業内容の種類や時期、場所の精選により、特段影響が出なかったことは非常に良かった。引き続き子ども立ちのため、教職員一丸となって、取り組んでいただきたい。また、子どもたちにとって、「学校が好き」ということが非常に重要である。そのためには「先生が好き」「授業が好き」という子どもたちが増えるよう、教員の授業力や人間力の形成・育成にも引き続き取り組み、今後も児童との丁寧な対話を大切にしていきたい。